

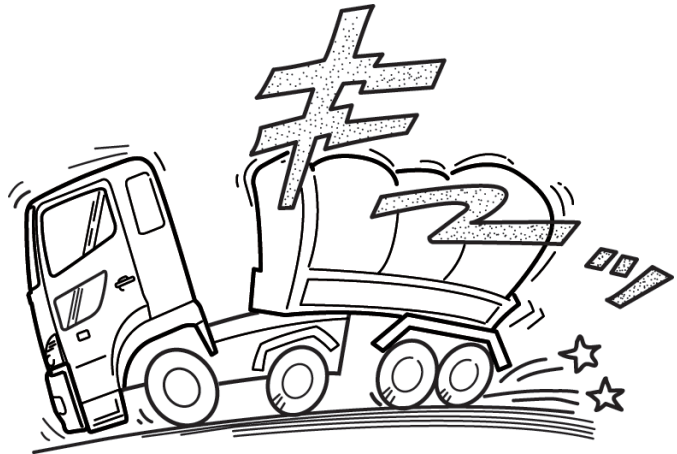
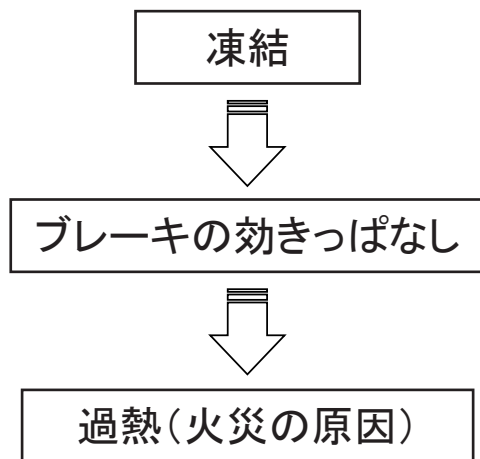


テクニカル・メッセージ

エアタンク内のたまり水点検のお願い

気温が氷点下に下がる冬季、ブレーキエア配管内に含まれた水分が凍結すると、ブレーキが正常に作動できなくなる場合があります。
エアタンク内のたまり水の日常(運行前)点検をお願いいたします。

★道路運送車両法により、使用者または運行する人は、この日常(運行前)点検が義務づけられています。



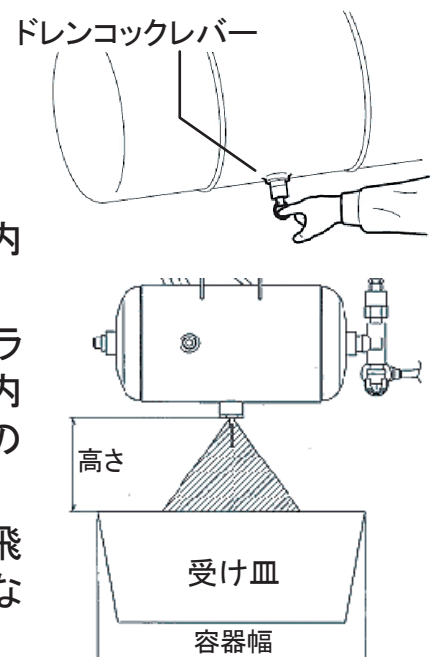
1. 対象車両

大中型トラック・バス全車

2. お願い

【エアタンク下ドレンコック】

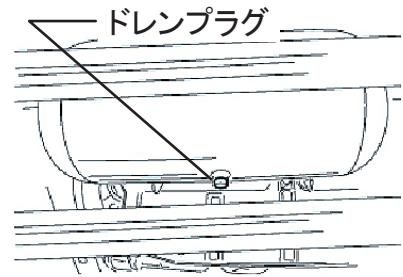
- エアタンク下のドレンコックレバーを引いて、タンク内に水がたまっていないかを点検します。
- 点検時、多量の水などが排出されたときは、エアドライヤ内の乾燥剤の劣化、ブレーキ機器・エア配管内への水浸入・エア洩れが考えられますので、最寄りの日野整備工場での点検を受けて下さい。
- ドレンコックから排出される液体が思わぬ方向へ飛ぶ場合があるので、保護具(手袋・メガネ・作業着など)を着用してドレンコックを操作してください。



日野自動車

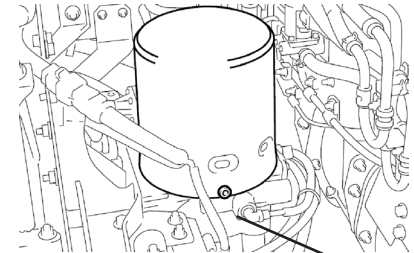
【エアタンク下ドレンプラグ】

- ドレンプラグによる排水については、最寄りの日野整備工場で行ってください。



【エアドライヤ】

- エンジンを掛けてエア圧力が充填されると、ドライヤ下部のエキゾースト(パージ)ポートからエアが排出されることを確認して下さい。ミストキャッチャ装着車の場合はエアドライヤからパージされたエアはミストキャッチャ内に排出されますので、ミストキャッチャ部を確認ください。排出されるエアの量は、最初が多く、その後約1分程度わずかに音がする程度が続き、そして止まります。
- 普通の使用条件でも、エアタンクから水が出たり、エアドライヤから異常にオイルが出るときは、最寄りの日野整備工場で、点検・整備を受けてください。

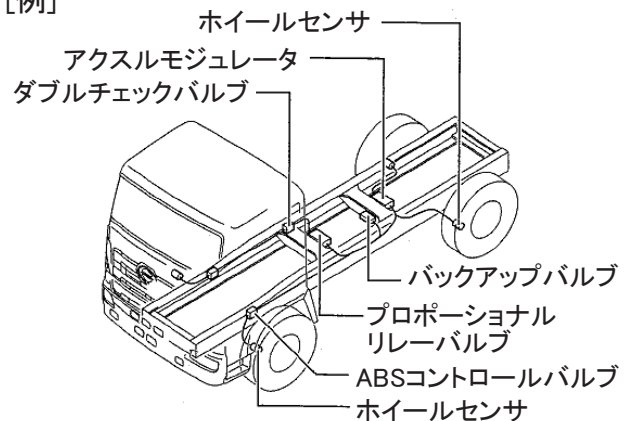


エキゾースト(パージ)ポート

【バルブ類】

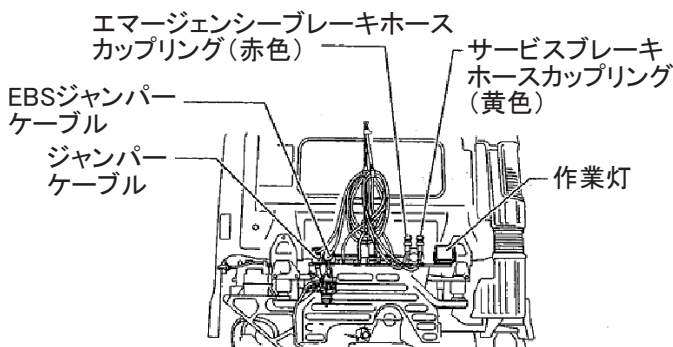
- 凍結防止のため、各バルブ関係に雪氷の付着があった場合、傷がつかない様に取り除いて下さい。

〔例〕

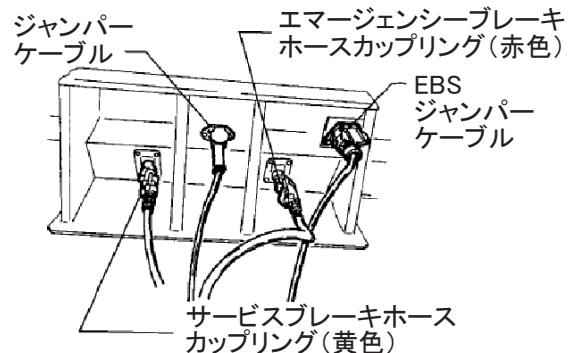


【トレーラカップリング】

- トレーラカップリングからのエア洩れ等がないか、月に一度点検ください。



《トラクタ側》



《トレーラ側》